

## 令和6年度第5回狛江市基本計画推進委員会 会議録

- 1 日 時 令和6年9月12日（木）午後7時00分～午後9時06分
- 2 場 所 狛江市防災センター3階 303会議室
- 3 出席者 委員長 福島 康仁 副委員長 上田 英司  
委 員 村上 裕章 委 員 河内 広樹  
委 員 佐藤 慶 委 員 佐藤 淳哉  
委 員 名古屋 信夫 委 員 水谷 成江  
委 員 高橋 良典  
事務局 杉田政策室長 中村企画調整担当主査  
宇野企画調整担当主任
- 5 議 事 令和6年度狛江市基本計画推進委員会提言書について

### 6 会議概要

- 1 令和6年度狛江市基本計画推進委員会提言書について  
—事務局から説明—

#### 【委員長】

事務局の説明に対する御意見等あるか。

#### 【委員】

本日、配付された下水道浸水被害軽減総合計画の概要を説明いただきたい。

#### 【事務局】

令和元年東日本台風の浸水被害を受け再度災害を防止するため策定したものである。

令和元年東日本台風と同じ規模の降雨に対するシミュレーションを行い、どういう対策をすれば、同じような被害が出ないかを検証している。令和元年東日本台風の被害の主な要因は、多摩川が溢水して被害が出たわけではなく、住宅街に降った雨を通常は多摩川に流していたが、令和元年東日本台風の際は多摩川の水位が上昇し、雨水を多摩川に流せなくなり、浸水被害が出た。どういう取組をすれば、再度浸水が発生しないかというところをシミュレーションし、猪方と六郷樋管にポンプを設置するというのが、主な事業である。計画通りポンプの設置を行えば、令和元年東日本台風と同程度の降雨があっても同じような浸水が発生しないという計画となっている。

#### 【委員】

下水道浸水被害軽減総合計画の浸水対策としては、ポンプの設置が主な取組であるということか。

#### 【事務局】

お見込みのとおりである。

**【委員】**

この計画の進捗状況を指標として、報告書に記載してはどうか。

**【事務局】**

現在の進捗状況としては、ポンプはまだ設計中であり、記載するとすれば、計画どおりポンプの設計等に取り組んでいる、といった記述になるかと思う。

**【委員】**

用地の取得等、支出を伴うものは先行して実施しているのではないか。

**【事務局】**

まだ、用地買収はしていない。

**【委員】**

そうであるならば、計画が遅れているということではないのか。

**【事務局】**

用地は計画では令和7年度に取得することとしており、計画を進めているところである。

**【委員】**

用地買収は段階的に行うものではないのか。

**【事務局】**

取得予定地は、段階的に取得しなければならないような細かく筆分けされた土地ではない。

**【委員】**

治水対策という施策に対して、ポンプの設置は根本的な取組だと思うので、総括や提言に記載があるべきではないか。

**【委員長】**

用地買収は、地権者との関係で計画どおりに実施することが難しい場合が多いかと思うので、用地買収についての記載は難しいのではないか。ポンプの設置については、どこかに記載があるのではないか。

**【事務局】**

ポンプの設置については、総括に記載している。

**【委員】**

下水道浸水被害軽減総合計画の内容をもう少し説明し、計画通り取組が進んでいるかどうかを記載した方がよいのではないか。

**【委員長】**

提言を下水道浸水被害軽減総合計画の内容を補う形で修正していただきたい。

**【事務局】**

計画の内容を補うとともに進捗状況についても記載する。

**【委員】**

ぜひそうしていただきたい。

**【委員長】**

1 ページの「はじめに」ところで、「分かりやすい記述に努めたところである。」とあるが、「市民にとって」の文言を追加していただきたい。市民にとって分かりやすい提言となるよう実施しているのが、外部評価の趣旨である。

**【委員】**

内部評価と外部評価と本委員会の関係はどうなっているのか。

**【委員長】**

本委員会は、外部評価である。内部評価は、行政が自らが行う評価である。

**【委員】**

外部評価、イコール本委員会であるならば、分かりやすいように記載してはどうか。併せて内部評価の説明も加えていただきたい。

**【事務局】**

現在、内部評価も実施しているので、併せて注釈を記載する。

**【委員長】**

細かいところではあるが、3 ページの評価対象施策 A には注釈があるが、評価対象施策 B に注釈が付いていないので、修正していただきたい。

7 ページの「狛江市前期基本計画の指標等に係る市民アンケート調査報告書」と1 ページの「市民アンケート」は同じものであるか。

**【事務局】**

同じものであるので、分かりやすい表現に修正する。

**【委員】**

注釈のつけ方について、もう少し見て分かるようにしていただきたい。

**【事務局】**

見てすぐわかるように工夫する。

**【委員長】**

2 ページのところだが、外部評価が第三者評価だと分かるように記載してはどうか。外部評価は、市民の視点による評価であることが分かるようにしていただきたい。

**【委員】**

9 ページの総括のところだが、「横断的な」とあるが、もう少し分かるように表現してほしい。

**【事務局】**

「横断的な」の意味としては、待機児童対策は担当だけではなく、市の他の組織も対策を行っており、組織横断的に対応しているので、「横断的」と表現している。

**【委員長】**

「組織」横断的など言葉を補ってはどうか。

**【事務局】**

表現は修正する。

**【委員】**

10 ページの提言のところに「遊びや行事等の充実が求められている。」とあるが、何か背景があるのか。

**【事務局】**

今年度に放課後クラブの民営化の方針を出しており、民営化に当たり放課後クラブに期待することについて、担当課でアンケートを実施した際に遊びだけではないが、活動の時間の延長、預かり枠の拡大、保育の充実等、全体的なサービスの向上に努めて欲しいというご意見を利用者からいただいている。

**【委員】**

「遊びや行事等の充実」については、取組の質が違う気がする。9 ページの総括に特別な配慮を必要とする児童の増加が課題とあり、安全や保育の質の確保が民営化しても必要なのだと思う。ただ、「遊びや行事等の充実」について利用者アンケートで出た意見であるならば、それでも良い。

**【副委員長】**

今もご意見のあった10 ページの民営化を行う学童クラブにおいても「安定的な運営や、保育の質を確保し」という表現は若干唐突な感じがある。この表現だと民営化された学童クラブは保育の質が低いと受け取られるのではないかと。

**【委員長】**

9 ページの総括には、「利用者の多様なニーズにこたえるためには、行政によるサービスの提供だけでは限界があり、保育の質の向上や保育時間の延長を実現するために民間活力を活用したサービスの提供を行っている。今後とも、多様なニーズに効果的なサービスの提供を行っていくために、学童クラブの民営化を検討していく」とあるので、保育の質をより向上させる、などと表現してはどうか。「安定的な運営」も分かりにくいので、表現を変えてはどうか。

**【委員】**

「安定的な運営」ではなく「安定的な人材の確保」としてはどうか。

**【副委員長】**

表現を整理して、「遊びや行事等の充実が求められている。安定的な人材の確保や保育の質をより向上させ、児童や保護者が安心して利用できる学童クラブ運営に努めていただきたい。」としてはどうか。

**【委員】**

10 ページの「努めている点は評価できる」だと。そこしか評価できる点がないよう

に見えるので、「努めている点も評価できる」としてはどうか。次の語が「求められている」なので、「学童クラブは」ではなく述語なので、「学童クラブには」であると思う。また、全体として「学童クラブ」という単語が複数出てくるので、省略できるところは省略しても良いのでは。放課後クラブは、学童クラブとは別なのか。

**【事務局】**

放課後クラブは、学童クラブの1類型であり、学童クラブに放課後クラブが含まれる。

**【委員】**

放課後クラブが分かりにくいので、補足があっても良いかと思う。

**【事務局】**

「学童クラブの一つである放課後クラブ」など分かりやすい表現とする。

**【委員】**

12ページの提言だが、「令和元年東日本台風と同規模の降雨による」、「令和元年東日本台風と同規模の出水に対して浸水を解消する取り組みを～」とあるが、令和元年東日本台風と同規模の降雨に対する対策を評価するのか。16ページのSDGsに対する評価と一致していない気がする。SDGsでは、気候変動による激甚化・頻発化した豪雨に対する浸水対策に取り組むとしており、レベル感が違うと思う。取組としては近年の気候変動による激甚化・頻発化した豪雨に対する浸水対策に取り組むべきではないのか。

**【委員】**

今の意見と同様だが、現時点では令和元年東日本台風と同規模の浸水被害を目安に対策に取り組んでいるというのは分かるが、提言としては、「令和元年東日本台風と同規模」だと、令和元年東日本台風は現時点では過去一番大きな被害であるが、激甚化しているので、もう少し高い目標を掲げて良いのでは。例えば、「今後想定される規模の出水に対して」などとしてはどうか。どんどんこれから激甚化する可能性もあるので、そこも含めたような表現とした方が提言としてはよいのでは。

**【委員長】**

令和元年東日本台風を一つの教訓として、今、ご意見のあったように高い目標に向けて、それに対する対策を進めるという提言となるように整理してはどうか。

**【委員】**

10年ぐらい前の災害対策は時間50ミリ程度を想定していたと思うが、今は時間80ミリ、場合によっては100ミリの雨が降る可能性がある。

令和元年東日本台風の降雨量で浸水被害が出ってしまったが、ただその令和元年東日本台風の降雨量よりもさらにレベルアップした対策を求めるといふ提言だと、おそらく相当な額の予算が必要になると思う。それだと、今計画しているポンプでは不十分ということになり、さらなる用地買収、設備整備までも必要となってくる可能性もあるので、とりあえず、令和元年東日本台風と同程度の降雨量に対応するというだけでも良いので

はないか。おそらく今、令和元年東日本台風と同程度の降雨に対応できるだけの対策はされていないかと思うので、ある意味、令和元年東日本台風と同程度の降雨に対応するというのは現実的なことだと思う。確かに表現を見ると、過去の被害が出たところまでとりあえず対策するというニュアンスが強く出ているかと思う。見た感じがすごく消極的というか、とりあえず対策しましょう、みたいな感じもあるので、ここは表現をうまく工夫して、その次に最近、激甚化する災害にもしっかり対応できるように、というような表現になると良いと思う。「令和元年東日本台風と同程度の降雨に対応」という部分が強調されているように感じてしまうので、表現をうまく工夫して、最近の激甚化した災害にも対応するとしてはどうか。対策の一つの目安が令和元年東日本台風である、というように表現を工夫して、誤解のないようにしていただきたい。

**【委員】**

今の考え方は、内部評価であればそれで良いのだと思うが、外部評価は、第三者の視点での評価という意味では、もう少し踏み込んでも良いのではないか。第三者的评价であるならば、予算を考えなくても良いという意味ではないが、第三者が高いことを望んでいるという表現があっても良いのでは。

**【委員長】**

今の表現は確かに内部評価に近い表現であると思うが、あまりに高すぎる目標を入れるということであると、施策評価の面から言うと、逆にそれが実現不可能なものになってしまう。これがもう少し上のレベルの評価、狭義の意味での政策評価であれば、政治と行政の間ぐらいの評価レベルになるので、高い目標もありかと思う。

ただ、今ご指摘があったように、内部評価レベルの表現にすると、外部評価ではなく、内部評価になってしまうので、そこは工夫をする必要があるかと思う。

**【事務局】**

今のご意見を踏まえると、気候変動によりさらなる降雨の増加も考えられるので、具体的な時間何ミリという表現は難しいと思うが、気候変動を考慮した表現となるよう工夫する。

**【委員長】**

基本計画でもゲリラ豪雨のことが、かなり触れられていたと思うので、先ほど議論があったように今後、ゲリラ豪雨等で激甚的なものが想定されるので、記載があった方が良くと思う。

**【副委員長】**

今回、下水道浸水被害軽減総合計画が作られて、そこでポンプの設置が計画され、用地買収はこれからだということを見ると、先ほどの委員長の話だと高すぎる目標や内部評価ようなレベルの表現ではなく、浸水対策については、例えばこの下水道浸水被害軽減総合計画を着実に進めていただきたいという表現にとどめて、次のSDGsの評価のところは、もっといろんな視点で取り組んでいただきたい、という感じで表現を使い

分けることは一案かと思う。今後、下水道浸水被害軽減総合計画は長期計画かと思うので、この施策では着実に下水道浸水被害軽減総合計画を進めていただくということが重要である、みたいな結論で良いかと思う。

**【委員】**

SDGsは、高い目標を掲げるという意味ではないのでは。今の社会が持続できるようなところで、そのゴールを作っていきましょうということだと思う。今の社会の中で気候変動の激しいこの状況下の中で、ゴールがあるのであれば、SDGsのゴールと施策のゴールを区分する必要はないのではないかな。

SDGsの視点で施策評価をせよということは、SDGsを取り込んで理由ではないのか。

**【副委員長】**

狛江市の施策における提言活動なので、SDGsでいくと、168のターゲットがあって、全方位にやってみよう、経済と持続可能を不可分でやるというふうに、野心的な目標を掲げてるので、分けて考えても良いと思う。

**【委員】**

サステナブルは野心ではないのではないかな。

**【副委員長】**

SDGsのアジェンダに「野心的な」という表現が書かれているので、見ていただいた方が良い。

**【委員】**

12ページに「浸水を解消する取り組み」とあるが、解消だと一度浸水してしまうという意味に捉えられるので、そもそも浸水させない方が良いので、浸水を防ぐなどの表現にした方が良いかと思う。「再度災害防止」という言葉が多く出てくるが、何か特別な意味のある言葉なのか。一般的な語ではないかと思う。

**【事務局】**

他の計画などで「再度災害防止」という言葉を使用しており、一度被害があったので再度被害が出ないように重点的に取り組んでいるという意味を込めているが、確かに一般的な言葉ではないので、表現は改める。

**【委員長】**

「はじめに」で分かりやすい表現に努めるとしているので、「再度災害防止」は言い換えていただきたい。また、「解消」も浸水させないことが重要なので、表現を改めていただきたい。委員会の提言はあくまでもこの施策に対してのものなので、令和元年東日本台風の状況に対して対策を着実に進めるとともに、あまり高すぎる目標は難しいが、次のより高いところを目指して取り組んで欲しいと提言したい。

**【委員】**

今の議論からすると、雨水浸透ますに関する提言は根本的な問題解決にならないので

はないか。下水道浸水被害軽減総合計画について、雨水浸透ますに関する説明と同程度の内容説明をした方が、内容的に充実すると思う。重要度からいうと、ポンプの設置ではないかと思うので、これほど浸透ますに表現を割く必要はないのではないか。

**【事務局】**

浸透ますについても施策としてあるので、効果の大小については指摘のとおりだと思うが、せっかく本委員会でも議論していただいたので、提言いただければ担当課も対応する。下水道浸水被害軽減総合計画については、進捗状況を記載する。

**【委員長】**

提言について、内容をもう少し充実させていただきたい。

**【委員】**

評価シートに樋管の遠隔化という表現があるが、適切ではないと思うので樋管の遠隔操作等の表現に修正してはどうか。また、雨水未整備地区も雨水浸透施設の未整備地区等へ修正をしていただきたい。

**【委員長】**

下水道浸水被害軽減総合計画を確認していただき、用語を修正していただきたい。

**【委員】**

11 ページに「浸水シミュレーションを使用することで、効果的な対策施設を設定している。」と記載があるが、具体的にはどういったことか。

**【事務局】**

下水道浸水被害軽減総合計画の中で浸水シミュレーションを行いその結果、効果的な対策がポンプの設置等である、という意味である。

**【委員長】**

説明は不足しているので、補足していただきたい。浸透ますは、自助の意識を高めるという意味か。

**【事務局】**

お見込みのとおりである。

**【委員長】**

下水道浸水被害軽減総合計画の推進は公助であり、浸透ますは自助なのであれば、公助と自助をどんどん進めていただきたいという整理で良いかと思う。

**【委員】**

15 ページの下から 4 行目のところに、取り組みの実施に際しては、前例踏襲の手法のみならず課題手法をその都度整理して、とこういう枠でくくっていると思うが、手法のみならず、課題手法というところをもう少し具体的に書いた方が内容的にはわかりやすく提言らしくなると思う。今回、一連の議論の中で指標に関しては、いろいろ意見があったように思う。もう少し指標についても踏み込んだ提案をして良いのではないか。

指標に関しては、やはりその指標の充実を図って欲しい。指標の中にも KPI と KGI が



あるが、KGI に関しては、目標設定をし検討の中の資料として加えていくべきだと思う。

**【委員長】**

施策評価の指標をもう少し意識する、充実させるということ重要であるかと思うが、どこまで充実させるかは非常に難しいところがあり、具体的過ぎる指標は評価が難しいと思う。

**【委員】**

15 ページの最後の段の主語は何であるか。

**【事務局】**

提言は、本委員会から市へ向けたものである。

**【委員長】**

先ほど指標について意見があったので、検証ついて「評価指標の充実や新しい知見を取り入れた検証を行う等」の表現を入れてはどうか。

**【委員】**

15 ページと 17 ページは内容が似ているので、棲み分けを行っていただきたい。

**【委員】**

11 ページの「まちづくりの視点：狛江らしさを活かす（狛江らしさの視点）」の記載が、狛江らしさを活かすを生かす内容ではなく、ある意味制約が記載されていると思う。狛江らしさを活かすという内容を記載してはどうか。例えば、コンパクトシティなので東日本台風の後、シミュレーションが素早く行えて、対策を進められたや、コンパクトだから重点的に対応する地域が特定できたなど、世田谷区など大きい地域よりうまく進められた等の記載はあると良いかと思う。

**【委員】**

17 ページの最後の段落は、文章を一度切り、「本提言書がまちづくりを推進していく上での一助になれば幸いである。」とした方が分かりやすいと思う。

**【委員】**

16 ページのSDGsの提言は施策なのか。

**【委員長】**

施策の評価に施策よりもSDGsという上の視点が入っており、そういう視点から眺めてみましょう、ということである。学童については、触れていないのか。

**【事務局】**

「市民参加・市民協働により地域課題の解決を一層推進～」という表現で学童についても包括的に表現をしたつもりではある。

**【副委員長】**

学童がすべての人に健康と福祉という項目だとすると日本の中でのその指標は比較的達成度が高い項目になってくるので、わざわざここで、そこをフォーカスした言及というのは難しいテーマであり、こういった表現になるのは仕方がないのではないかと。特に

今回は放課後の活動場所の充実というグローバルの中でも、放課後活動の充実というのは、なかなか指標が作りづらいところなので、もうここはこのぐらいの表現でも致し方ないのでは。これ以上書く必要はないかと思う。あくまでもSDGsの視点を取り入れた行政運営に向けた提言ということなので、これぐらいの表現で良いと思う。

## 2 その他

### 【事務局】

第1回において、今年度の委員会については、全6回と案内したが、今回の委員会において、ある程度全体整理ができたと考えている。今年度の委員会としては、今回で活動を終了し、提言書については、委員の皆様には修正箇所を確認いただいた上で確定は、委員長一任とさせていただきたいが、よろしいか。

ー異議なしー

### 【委員長】

委員の皆様のご了承が得られたので、修正箇所を再度確認いただいた上で確定は、委員長一任とさせていただく。

### 【事務局】

本日の委員会に出た意見を踏まえ修正した提言書のデータをメールにて送付するので、9月17日（火）までに確認をお願いしたい。また、令和7年3月を目途に、提言書を受けての各課の対応について報告する。

### 【委員長】

その他特に御意見等なければ、令和6年度第5回狛江市基本計画推進委員会を終了とする。